

祉推進のための基本指針となる地域福祉計画の整備を進め、町民と行政が一体となった地域福祉体制づくりに努めてまいります。また、消費税率の引上げに伴う、低所得者への給付措置(臨時福祉給付金・子育て世帯臨時特別給付金)の迅速な事務処理に努めてまいります。

子育て支援につきましては、子ども・子育て関連法に基づき、平成27年度からの子ども・子育て支援新制度に対応するため「子ども・子育て支援事業計画」を策定し、子どもを安心して生み育てることが出来る環境づくりの施策を推進してまいります。体育施設の整備充実につきましては、既存の社会体育施設の充実を図るとともに、スポーツ振興・健康づくりの拠点としての町立体育館の建設に向け、他事業との調整を図ってまいります。

地域農業の振興につきましては、地域農業マスタープランを基本として、農業後継者や新規就農者の育成・確保をはじめ中心経営体への農地集積など地域農業を支援し、さらに水田農業の経営所得安定対策の見直し等に伴う円滑な移行推進と、農産物などの地域資源を活用・連携させた6次産業化の支援や、農業体験型グリーン・ツーリズム

の育成につきましたは、わくわく平泉学スクールや「平泉学」の充実と併せ、ときめき世界遺産塾の開催や青少年のリーダー育成を目的とした「ジュニア平泉文化歴訪団」を山形県酒田市に派遣するなど、多様な学習機会の提供により「ふるさと平泉」を愛する心を育んでまいります。世界遺産の拡張登録につきましては、国・県及び一関・奥州両市と連携し調査研究を進め、史跡柳之御所遺跡と史跡達谷窟の登録を目指してまいります。



▶昨年福島県国見町などを訪れたジュニア文化歴訪団

による交流を推進してまいります。商工業の振興につきましては、平泉商工会等、関係機関と連携した支援体制の整備により、地域に密着した魅力ある商店づくりを推進し、本町の特徴である観光や農林業と連携した特産品の開発・販売等を促進します。

「道の駅」につきましては、平成28年度の開業を目指し、国とともに実施設計等を行い、引き続き管理運営団体の育成・農業団体等の支援を進めてまいります。また、黄金沢土取場跡地の活用とともに、世界遺産の町「平泉」にふさわしい環境や人による再生可能エネルギーの普及を図るため、太陽光発電事業の立地を促進してまいります。

ILC国際リニアコライダーの誘致につきましては、関係機関と連携を図りながら情報収集・意見交換を行い、普及啓発に努め、近隣市町とともに積極的

な取り組みを進めてまいります。戦略3は、多くの町民が強く望んでいる安全・安心なまちづくりの推進についてであります。

戦略3 多くの町民が強く望んでいる安全・安心なまちづくりの推進

望んでいる安全・安心なまちづくりの推進についてであります。

主要施策

【注】この部分は主な事業を簡潔書きで掲載します。

1 健康・福祉・子育て 応援のまち

◎保健・医療

- ▽健康ひらいずみ21(第2次)プランに基づいた各種健診や健康教室の充実
- ▽バランスのとれた食生活の推進による生活習慣病(循環器疾患)予防
- ▽成人歯科健診の受診勧奨による歯と口腔の健康促進
- ▽在宅当番医制事業や小児・成人夜間救急医療対策事業による地域医療体制の充実

◎地域福祉

- ▽民生委員による地域での見守りの体制づくり強化
- ▽災害時要援護者支援プランの見直しや災害対策基本法に基づく避難行動要援護者名簿の整備
- ◎高齢者福祉
- ▽高齢者総合相談センターひらいずみなどの連携
- ▽介護予防ボランティア組織への支援継続や認知症サポーターの養成

2 魅力と活力にあふれる 産業のまち

◎障がい者福祉

- ▽家族介護手当、タクシー料金の助成による支援
- ▽第6期の介護保険計画策定の支援と介護保険制度の見直し
- ◎障がい者福祉
- ▽保健・医療・福祉サービスの提供や地域生活を支援する相談体制の強化
- ▽一関地区障害者地域自立支援協議会との連携
- ▽障がいの特性を踏まえたサービスの提供と人権や財産を守る成年後見制度の利用支援
- ◎子育て支援の充実
- ▽保護者の多様な保育ニーズへの柔軟な対応と保育サービスの充実
- ▽第2子保育料減免を委託保育等まで拡大
- ▽長島地域への放課後児童クラブ設置に向けた検討
- ▽妊産婦と中学生以下を対象にした医療費完全無料化
- ▽妊婦健診と予防接種の公費助成や母子保健の充実

◎農業の振興

- ▽農地の利用集積や農作業受委託の促進
- ▽意欲と能力のある認定農業者の支援
- ◎産業の振興
- ▽新規就農者支援事業による農業後継者や新規就農者の育成・確保
- ▽6次産業化に対する農業女性の組織化支援
- ▽農産物生産出荷組織の設立と育成
- ▽グリーン・ツーリズムの魅力を発信と受入農家の参加拡大のための排水設備等の補助
- ◎畜産の振興
- ▽福島原発事故による信頼回復と安全・安心な粗飼料の供給と汚染牧草の早期再生
- ▽繁殖牛や肥育素牛への補助金助成による支援
- ▽いわて南牛振興協会を中心としたブランド肉牛「いわて南牛」の安定供給基盤の確立と販売促進
- ◎林業の振興
- ▽森林病虫害防除や適正な整備による森林環境の保全
- ▽平泉古事の森事業による森林づくりの普及啓発
- ▽東稲山の桜情景復活を検討
- ◎商業の振興
- ▽平泉の食と観光情報発信事業
- ▽空き店舗対策事業を活用した新規起業者の支援
- ▽浄土の風平泉オンラインショップなどを活用したアピール
- ◎工業の振興
- ▽中小企業の設備投資資金等における投資活動への支援
- ▽新たな雇用の創出や企業誘致の推進
- ◎雇用対策の充実
- ▽緊急雇用創出事業の活用
- ▽継続的な雇用機会の創出
- ◎生涯学習社会の形成
- ▽公民館における各種講座教室の開設や図書館サービスの充実
- ▽各行政区が平泉学習に取り組みするための助成事業の新設
- ▽教育振興運動の継続
- ▽放課後こども教室や学校支援ボランティア活動の充実
- ◎生涯スポーツの振興
- ▽町民大運動会や出前スポーツ教室などの開催による生涯スポーツの推進
- ▽第71回国民体育大会第16回全国障害者スポーツ大会開催の醸成
- ◎幼児教育・学校教育の充実
- ▽中学生への英語検定全額補助や小学校と幼児施設に外国語指導助手(ALT)配置し、英語学習意欲の醸成
- ▽小学校に読書推進員の継続配置

健康づくりにつきましては、町民一人ひとりが生活習慣を見直し、「自分の健康は自分で守る」という認識と自覚を高めることを基本に、がん検診等各種健康診査や健康教室等による地域での健康づくり事業の充実を図るとともに、高齢者福祉においては、介護予防事業の充実や認知症対策など日常生活への支援を実施してまいります。

地域防災力の充実につきましては、「消防団を中核とした地域防災力の充実強化に関する法律」に基づき、消防団員への装備品などの活動支援を行うなど消防団の強化を図り、住民の安全確保に努めてまいります。

また、地域における防災体制の強化に向け、自主防災組織の連絡協議会の設立に向けて取り組んでまいります。さらに防災対策におきましては、防災体制の強化や防災意識の高揚に向けた取り組みを推進し、地域防災力の向上を図ってまいります。

交通安全・防犯対策につきましては、町民の交通安全や防犯に関する意識の高揚と自主的な安全活動を推進していくとともに、地域ぐるみの各種防犯や地域安全活動を促進してまいります。

交通安全・防犯対策につきましては、町民の交通安全や防犯に関する意識の高揚と自主的な安全活動を推進していくとともに、地域ぐるみの各種防犯や地域安全活動を促進してまいります。



▶消火訓練を行う町消防団

世界遺産まちづくりプロジェクト

次に、世界遺産まちづくりプロジェクトについてであります。

平成23年6月29日に世界遺産登録が実現して以来、多くの観光客にお越しいただいております。平成25年の観光客の入込数は、214万人となりました。

国内外からの多くの観光客に對しましては、何度でも気持ち良く本町を訪れていただけるよう、平泉観光案内所での案内業務の充実や巡回バスやレンタサイクル、超小型モビリティを活用した2次交通の充実に努めてまいります。

また、語り部タクシーや観光ガイドの育成・支援、官民協同で公衆無線LANの整備に努めるなど、平泉を訪れる人たちにやさしさを届ける取り組みを進め、平泉ファンの増加に結びつけてまいります。

さらに平成26年は、「世界遺産登録3周年」、「平泉世界遺産の日」の県条例制定も予定されていることから、特別展の開催、岩手県及び一関市、奥州市との実行委員会組織による記念イベントを実施するなど、その余波を県内及び東北全体に波及できるよう世界遺産観光の推進を図ってまいります。

(仮称)平泉スマートインターチェンジの整備につきましては、関係機関との協議を重ねながら、国土交通省への連結申請書提出に努めてまいります。「平泉の文化遺産」を核とする地域づくりにつきましては、「平泉ナンバー」を実現させる会」とともに、「平泉ナンバー」へのナンバープレートの交換を推進します。また、岩手県の記念日として「平泉世界遺産の日」の条例制定後には、民間団体と連携し各種事業を進めてまいります。未来の平泉を担う子どもたち

用した2次交通の充実に努めてまいります。また、語り部タクシーや観光ガイドの育成・支援、官民協同で公衆無線LANの整備に努めるなど、平泉を訪れる人たちにやさしさを届ける取り組みを進め、平泉ファンの増加に結びつけてまいります。さらに平成26年は、「世界遺産登録3周年」、「平泉世界遺産の日」の県条例制定も予定されていることから、特別展の開催、岩手県及び一関市、奥州市との実行委員会組織による記念イベントを実施するなど、その余波を県内及び東北全体に波及できるよう世界遺産観光の推進を図ってまいります。(仮称)平泉スマートインターチェンジの整備につきましては、関係機関との協議を重ねながら、国土交通省への連結申請書提出に努めてまいります。「平泉の文化遺産」を核とする地域づくりにつきましては、「平泉ナンバー」を実現させる会」とともに、「平泉ナンバー」へのナンバープレートの交換を推進します。また、岩手県の記念日として「平泉世界遺産の日」の条例制定後には、民間団体と連携し各種事業を進めてまいります。未来の平泉を担う子どもたち